

2019年3月6日

デロス中国と協業し、 中国で健康的な暮らし空間の研究・実証を共同で推進



【「ウェルリビングラボ(中国)」の実験室】
(リビングエリアイメージ)



【「ウェルリビングラボ(中国)」の実験室】
(寝室エリアイメージ)



【「ウェルリビングラボ(中国)」の実験室】
(オフィスエリアイメージ)

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社(以下、パナソニック)は、このたび、「人の健康」に着目した建物評価指標「WELL認証(※1)」を開発したデロス社(本社:米国)の中国法人であるデロス中国(名称:得楽室(北京)建築科技有限公司 本社:北京市)と、中国の住宅やオフィスなど「暮らし空間」における健康環境の研究・実証を共同で推進することについて、戦略的提携を締結しました。

今後、デロス中国が北京市内に開設する「ウェルリビングラボ中国」に、パナソニック専用の研究室を設置し、当社製品が導入される実際の空間において、当社が新たに提案する健康環境の実証実験を行います。当社は、デロス社が著名な総合病院であるメイヨー・クリニックと共同設立した「ウェルリビングラボ米国」の創設メンバーの1社として2017年からWELL認証への取り組みをすでに開始しており、今回の中国での協業によりデロス社との連携をさらに深めてまいります。

「WELL認証」は、建物を「空気質」「光」「水質」「快適さ」「心」など複数の項目で評価する米国本社のデロス社により開発された指標です。近年、米国に続いて中国の市場でも、建物そのものではなく、建物の利用者の健康や快適性への配慮が求められてきており、「WELL認証」への関心が高まっています。また、中国では大気汚染が社会問題化していることから、国としても健康に配慮した建築への取り組みを強化しており、今後、健康建築市場が大きく拡大していくとみられています。

「ウェルリビングラボ中国」は、室内環境が人の健康や快適に与える影響を被験者実験によって数値化し、その対策を効率的に創出していくことを目的とした研究施設で、デロス社がアメリカに続いてアジアで初めて開設するラボとなります。建物内には多くのセンサが設置され、屋上には360°回転する実験室を備えるなど、様々な条件下での実証実験が行えるよう設計されています。当社は、この最先端の設備を備えた研究所において、これまで蓄積してきた空気質環境や光環境など空間が人に与える影響に関する豊富な知見を基礎とし、そこに「WELL認証」のコンセプトを取り入れた新たな「暮らし空間」を提案、その効果をデロス中国と協力して実証していく計画です。

今後、当社はデロス中国とともに、中国の戦略パートナーとの協業によって創出する、この高付加価値な「暮らし空間」の提供を通じて、中国の人々がより健康・快適な環境で過ごせるように貢献してまいります。

※1:米国で開発された建物の評価指標で、建物利用者の健康・生産性を焦点とする。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。
商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。